令和03年度日進市事務事業評価シート

大事業名	図書館管理運営事業				コード	05240400-0102	
中事業名	図書館運営事業				計画区分	―	
担当部等	学習教育部		担当課等	図書館			
総合計画	コード	名称	予算科目		コード	名称	
基本目標	05	学びと文化で未来を創る人財を育てる	会計		1	一般会計	
基本施策	24	生涯学習の推進	款		10	教育費	
主要施策	04	図書館サービスの充実	項		04	社会教育費	
			目		03	図書館運営費	
			大		01	図書館管理運営事業	
			中		02	図書館運営事業	
根拠法令・条例等	図書館法、日進市図書館条例、日進市図書館規則						
基本計画等	日進市子ども読書活動推進計画						

1　事業概要「PLAN（計画）」

事務事業の概要	新型コロナウイルス感染症に係る新しい生活様式に対応するため、図書館パワーアップ事業として国の交付金を獲得し、オーディオブック連携による図書館システム改修事業を実施する。また、配本業務について配本箇所の拡大を予定しており、これに合わせてシルバー人材センターへの業務委託や、合わせて新たな配本車の導入等を行う。
対象	図書館利用者
意図（目的）	幅広い利用者層のニーズに対応するため、多様な図書館サービスの充実を図る。
手段	オーディオブック連携による図書館システムの改修、私立幼稚園への配本開始、「日進市子ども読書活動推進計画」に係る各種事業・イベントの開催

2　実施結果「DO（実施）」

事業費（千円）			H31予算額	H31決算額	R2予算額	R2決算額	R3予算額	R3決算額	R4予算額
			103,208	96,693	100,351	103,008	97,845	97,267	104,083
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0	0	0
		その他	36	33	36	18	124	23	124
	一般財源		103,172	96,660	100,315	102,990	97,721	97,244	103,959

令和03年度日進市事務事業評価シート

○令和 3年度に記載した具体的な改善内容

令和 3年度に実施する具体的な改善内容	新型コロナの影響が継続しているため、引き続き感染予防対策を取り各種事業を展開していく。さらに、コロナ禍での「新しい生活様式」に対応するため利用の分散・夜間利用を推進していく。そのためには、ボランティアの活動も大きく関わることから、全ボランティアを対象とした交流会やボランティア養成講座を通して協働関係を構築していくとともに事業の周知・啓発に努める。学校配本については、学校との連携を密にできる体制を整えていく。
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容	図書館施設機能を活用した総合的な啓発事業を増やし、会議室やテラスの有効活用を図る。また、利用者が空き時間に気軽に行えるボランティア活動や図書館の案内役である「図書館コンシェルジュ」の養成、館内設備の利用方法などの周知、何らかの理由で読書が困難な方等へ、大活字本、ＬＬブック、点字資料を増やす等、利用者の利便性を高める。

令和 3年度に取り組んだこと	いつもそばに本を～心の豊かさを育もう～を基本理念とした「第2次日進市子ども読書活動推進計画」を3月に策定した。また、新型コロナウイルスの影響により、8月28日（土）から9月12日（日）の間、臨時休館を行った。その後、感染予防対策を取った上で徐々に制限を緩和し、11月には学習室の利用を市外利用者にも開放した。

成果	臨時休館の影響で来館者数や貸出件数等は一旦落ち込んだものの、インターネットからの予約、再貸出及びオーディオブックの利用推進等を行った結果、数値は臨時休館前の水準に戻りつつある。また、昨年度に引き続きクラウドファンディングを活用した多言語絵本を購入する事ができた。
課題	来館者数や貸出冊数は持ち直しているとは言えコロナ前の水準には戻っていないため、今後もウィズコロナに対応した図書館運営が求められる。また、「第2次日進市子ども読書活動推進計画」で掲げた中高生の読書率向上、小中学校との連携、様々な年代に合わせた啓発事業の開催や適切な周知等を今後重点的に取り組んでいく必要がある。

３　事業の分析「CHECK（評価）」

評価結果	Ｂ	現状のまま継続	前年度評価結果	Ｂ
評価の理由	資料購入については、クラウドファンディングで昨年度と同規模の寄付を受けた事で、多言語絵本の充実に繋げる事ができた。配本事業は、私立保育園への拡大を目指したが新型コロナの影響で実施できず、令和4年度での実施に向けて再調整を行っていく。各種事業も昨年度に引き続き中止や縮小を余儀なくされたが、職場体験の代替事業としての図書館のお仕事体験や、施設見学を小学校へ出張して実施する等、新たな取り組みを多数行った。			

４　今後の方向性「ACTION（改善）」

令和 4年度に実施する具体的な改善内容		新型コロナウイルスの影響が未だに継続しているため、引き続き感染予防対策を取り各種事業を展開していく。また、「第2次日進市子ども読書活動推進計画」の計画初年度である事から、家庭・地域・学校等における読書活動の推進のため、それぞれと連携・協力できる体制を整えていく。さらに、国のデジタル田園都市国家構想に基づく市立図書館と学校図書館との間でのシステム連携を通じてデジタル環境の整備を進めていく。			
今後の方向性	成果	○拡充	●維持	○縮小	○休廃止
	コスト投入	○拡大	●維持	○縮小	○皆減
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容		図書館施設機能を一体化して活用する総合的な啓発事業を増やす事で、会議室やテラスの有効活用を図る。また、今まで図書館主体で開催してきた事業（図書館まつりやビブリオバトル）の運営についてボランティア団体や近隣大学に参加してもらう事で、さらなる協働関係を構築していく。			

【アウトプット指標】

指標名	延べ貸出数					単位	冊
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	1,117,309.00	997,004.00	1,016,944.00	833,780.00	850,456.00	966,482.00	985,812.00

【アウトカム指標】

指標名	貸出率					単位	%
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	281.24	249.21	251.68	203.83	205.84	233.17	235.48
式	延べ貸出数／蔵書数×100						
指標の狙い	蔵書１冊に対する貸出数を見ることにより利用者ニーズを捉え、単純な数字の向上を目指すのでなく、バランスの良い蔵書構成の目安とする。						

令和03年度日進市事務事業評価シート

【アウトプット指標２】

指標名	レファレンス件数					単位	件
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	2,408.00	2,160.00	2,376.00	1,086.00	1,195.00	900.00	990.00

【アウトプット指標３】

指標名	蔵書数					単位	冊
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	397,273.00	400,067.00	404,068.00	409,065.00	413,156.00	414,498.00	418,643.00

【アウトカム指標２】

指標名	資料提供率					単位	%
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	100.00	99.81	100.00	99.54	100.00	99.44	100.00
式	解決件数／レファレンス全件数×100						
指標の狙い	求められた情報に対して十分な回答を得られることは、利用者の満足度を測る指標となり、100%を目指す。						

【アウトカム指標３】

指標名	不明資料率					単位	%
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	0.02	0.01	0.00	0.01	0.00	0.01	0.00
式	蔵書点検により判明した不明資料数／蔵書数×100						
指標の狙い	不明資料を減らすことは、利用者の要望に早く応えることに繋がるため、適切な管理を行い、0%を目指す。						